

湯河原ロータリークラブ



WEEKLY REPORT

世界へのプレゼント になろう

第 2598回 例会
平成27年8月28日(金)
天候 曇り
合唱 移動例会の為無し

会長 佐藤 泰文
幹事 山本 明峰

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場 静岡県熱海市泉 107 ニューウェルシティ湯河原
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

本日は夜間例会です。8月は会員増強月間で皆さんよりご意見頂き、会員増強を目指したいと思っております。

先週のガバナー訪問で、カバナーは会員同士でよく話し合い、単独ではしない複数で介入を進め、短期型で何度か訪問することがひとつの方法、ずるずる長引くとよい結果は得られないとの考えでした。

これよりお茶を窺めながらよい結果でありますよう審議しましょう。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1. 9月のロータリーレート 1ドル124円
ガバナーより

1. 地区大会で各クラブの紹介について

「写真 1枚」

クラブの会員がたくさん写っている写真で、できれば奉仕活動に参加されている写真が望ましい。

「クラブの紹介」

クラブの特徴でも紹介でも構いません。写真に関する内容でも結構です。一文でクラブを紹介してください。当日、ガバナー補佐に写真と共に紹介していただきます。

締切：2015年9月15日(火)

地区社会・国際奉仕委員会より

1. 「ダメ。ゼッタイ」国連支援募金運動への協力について

当地区として協力していきたいので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

湯河原町商工会青年部より

1. 「ゆがわら HALLOWEEN2015」広告協賛のお願い

協賛金 5,000円

連絡事項

1. 9月の例会は、4日、11日、18日、25日の通常例会です。宜しくお願い致します。

スマイルBOX

移動例会の為無し

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 5(免除者 2名)		出席率 90.91%
	前回の修正出席率 91.67		前々回の修正出席率 73.91%

事前メイクアップ 1名

世界へのプレゼント

会長 佐藤 泰文

親愛なるロータリアンの皆さん、私たちはロータリーで、善き行いを目指して、私たちは人類に偉大なプレゼントを残した人々を尊敬しています。弾圧された人に人間の尊厳を与えたエブラハム・リンカーン。忘れ去られた人々に慈悲の心ささげたマザー・テレサ。虐げられた人々に平和的な変化をもたらしたマハトマ・ガンジー。彼らは、自らが世界へのプレゼントとなって、自らを捧げました。

私たちは、これらを手本として刺激を受けることができます。人生に於いて、自分が大切にする責任をおろかにせずに、どうしたら自らも捧げられるだろうか、と、今年度のテーマを考えている時、ヒンズー教を通じて、私が学んできた教訓を思い出しました。とりわけスダマの物語です。

貧しいスダマは、神の化身として王家に生まれたクリシュナの親友で、2人の少年は成長するにつれて少しずつ疎遠になり、クリシュナが軍を率いる名高き王となり、一方でスダマは村で慎ましい暮らしをしていました。

時はたち、スダマの生活はますます苦しくなり、ついには、子どもに与える食事まで事欠くようになってしまいました。妻は幼い頃に親しくしていたクリシュナに助けを求めるよう提案しました。最初は躊躇していたスダマも結局同意しましたが、手ぶらでは申し訳ないと、家族の残り僅かな食料のお米を布に包んで持って行きました。

宮殿に入ると、スダマはその威容とクリシュナの歓迎ぶりにすっかり圧倒させてしまいました。丁重に包んでいた米さえ粗末に思えて差し出すことができないまま、持った手を後ろに隠していると、クリシュナは「何を持っているのか」と尋ねました。

布を開いて中の米を見たクリシュナは、軽蔑するどころか大喜びで食べ、二人は思いで話しに華を咲かせていました。数時間後、変わらぬ友情に感激したスダマは、助けをお願いすることをすっかり忘れ、クリシュナの元を去りました。帰り道、スダマは当初の目的を忘れていたことに気づきました。最後の食料であったお米もクリシュナと一緒に食べ、なくなってしまいました。

お腹をすかせた子供たちが待つ家に帰るのは至極苦痛でした。しかし、家の前に立って彼が目にしたのは、前日出てきた時の小屋でなく、立派な家でした。そして、きれいな服を着て十分な食事を済ませた家族がスダマを待っていました。

クリシュナには、スダマがありったけの米をプレゼントしたことがわかっていましたのです。そのお返しにクリシュナは、スダマが必要とするすべてを与えました。その逸話の教訓は受け手によって大切なのは、その物質的な価値でなく、贈り主の心がどれだけ込められているかということです。スダマの物語のように、私たちがロータリーを通じて捧げることは、いずれは自身への贈り物になるものです。私たちには選択技があります。受けられるものだけに留めるか、またはそれを生かして自らが「世界のへプレゼント」となるかです。

この機会は二度と訪れません。今年も一度きりです。この機会を逃がさずに生かし「世界へのプレゼントになろう」をテーマに活動していきましょう。

R I ラビンドラン会長メッセージ
『ロータリーの友』より

夜間例会並びに情報集会

「和はな」にて5時30分より夜間例会、6時よりA,B,C班に分かれ会員増強のための候補者の情報集会を行った。

